

平成19年4月27日

平成18年度
公共交通移動円滑化設備整備費補助金の交付実績について

国土交通省は、補助対象事業者から申請のあった平成18年度公共交通移動円滑化設備整備費補助金について、交付を行い、このたび次のとおり額が確定しました。

補助対象事業	補助事業者数	補助数量	国庫補助金額
ノンステップバス等の導入	88 事業者	1,105両	1,205 (百万円)
鉄道とバス相互の共通乗車ICカードシステムの整備(車載機)	20 事業者	1,979基	248 (百万円)
バスカメラを活用したバス走行円滑化対策	2 事業者	10基	4 (百万円)
合 計	110 事業者		1,457 (百万円)

1. 高齢者、障害者等が公共交通機関を円滑に利用できるようにするためには、公共交通機関の各施設のバリアフリー化を総合的に推進することが重要であり、最も身近な公共交通機関であるバスについては、ノンステップバスの普及が強く求められているところです。
2. しかしながら、個々の公共交通事業者による努力のみに委ねてはバリアフリー化が進まない状況にあります。公共交通機関のバリアフリー化促進のためのインセンティブを働かせるため、国としてバス事業者等が行う公共交通移動円滑化設備整備事業に対して、地方公共団体と協調して経費の一部を補助するものです。

《補助事業の概要》

補 助 内 容	補 助 率
ノンステップバス等の導入費補助	通常車両価格との差額の1/2
鉄道とバス相互の共通乗車ICカードシステムの整備(車載機)	補助対象経費の1/4
バスカメラを活用したバス走行円滑化対策	補助対象経費の1/3

上記事業のほか、乗継等情報提供システムの整備、鉄道駅周辺等のバスターミナルのバリアフリー化、福祉運送普及促進モデル事業等についても補助対象事業です。

問い合わせ先:国土交通省自動車交通局旅客課
内線41233 直通03-5253-8571
担当 鈴木

〈参考1〉

公共交通移動円滑化設備整備費補助金交付実績内訳(平成18年度)

○ノンステップバス等の導入 単位:百万円

運輸局	事業者数	補助車両数	補助金額
北海道	4	15	28
東北	3	12	17
関東	47	578	460
北陸信越	5	10	13
中部	6	167	307
近畿	13	299	343
中国	5	9	15
四国	1	2	4
九州	4	13	17
合計	88	1,105	1,205

○鉄道とバス相互の共通乗車ICカードシステムの整備(車載機)

単位:百万円

運輸局	事業者数	補助金額
関東	20	248

○バスカメラを活用したバス走行円滑化対策

単位:百万円

運輸局	事業者数	補助金額
関東	2	4
合計	2	4

注: 補助金額の合計額は、百万円未満を四捨五入していることから、各地方運輸局ごとの補助金額の合計と合わない。

〈参考2〉

バリアフリー化の目標

平成22年までに、乗合バス総車両数(約6万台)の30%をノンステップバスとすることを目標としています。

ノンステップバス等の車両数の推移(平成18年3月末現在)

(単位:台)

平成 年度 末	うち ノンステップバス			低床バス			リフト付バス			乗合バス 総車両数
	車両数	総車両 数比	指数	車両数	総車両 数比	指数	車両数	総車両 数比	指数	
12	1,289	2.2%	100.0	2,877	4.9%	100.0	326	0.6%	100.0	58,348
13	2,294	3.9%	178.0	5,105	8.8%	177.4	407	0.7%	124.8	58,273
14	3,835	6.5%	297.5	8,095	13.8%	281.4	488	0.8%	149.7	58,801
15	5,432	9.3%	421.4	10,492	18.0%	364.7	564	1.0%	173.0	58,335
16	6,974	12.0%	541.0	13,144	22.6%	456.9	605	1.0%	185.6	58,119
17	8,639	15.0%	670.2	16,237	28.1%	564.4	737	1.3%	226.1	57,739